


AIDS文化フォーラム in YOKOHAMA

テーマ **リアルにふれる** 一人ひとり大切なことを探してみよう！

あなたにとって「大切なこと」は何でしょうか。誰も病気になるたくない、つらい思いをしたくない、命を落としたいくない、など様々な思いはあります。でも、どのような状況にあっても「大切なこと」に気づくことができれば、今を、明日を生き続けることができるのではないのでしょうか。2020年は、ともに「大切なこと」を考えてみたいと思います。

今年は全国とオンラインでつながります！ その他のプログラム詳細はHPに掲載

8/7 金 10:00-11:45  online


相変わらず感染症に振り回される日本

～「いいエイズ、悪いエイズ」に学べず「いいコロナ、悪いコロナ」に?!～

- ★ 加藤力也 (HIV 陽性当事者)
- ★ 宮田一雄 (元産経新聞)
- ★ 宮崎豊久 (ネットスター株式会社)
- ★ 岩室紳也 (運営委員会)



情報がなかなか入手できなかった時代と同じく、情報がふんだんに入手できる時代でも偏見、誤解、差別が横行するのは何故? 「正しい知識」が得られない背景を考えます。

8/8 土 16:00-17:30  online

宗教とAIDS 看取りを考える

～あらためて一人ひとりの生老病死とは～

- ★ 平良愛香 (牧師)
- ★ 安食真城 (龍谷大学 僧侶)
- ★ 山田圭吾 (カトリック信徒)
- ★ 古川潤哉 (僧侶)
- ★ 岩室紳也 (運営委員会)



HIV/AIDS では同性婚が認められないがために、新型コロナウイルスでは感染リスクを理由に看取りがかなわない人たちが続出。

8/9 日 13:30-14:45  online

水谷修さんに聞く、若者たちの今

～新型コロナウイルスで学校に行けない～

- ★ 水谷修 (水谷青少年問題研究所 所長)

聞き手 岩室紳也 (運営委員会)



学校に行けない若者たちを支援してきた「夜回り先生」。学校という居場所を長期にわたって失った全国の若者たちからどのような声が寄せられたのかを伺います。

参加方法 / 参加申込み

AIDS文化フォーラム in 横浜 HP のオンラインフォームで受付
お申込み者に事務局より詳細をお送りします。

受付期間：2020 **7/13** 月 → **8/3** 月

※ ZOOM (ウェビナー) での参加となります。プログラムによっては、YouTube を利用しての視聴も行います。詳しくはHPでご確認ください。通信機器 (PC、スマートフォン、タブレット) 及び通信環境をご確認の上で参加ください。

申し込み

<https://abf-yokohama.org>



全国に広がる AIDS 文化フォーラム

1994年、エイズ国際会議を契機にはじまった、市民による市民のためのフォーラムです。HIV/AIDS を医療だけの問題ではなく、広く文化の問題としてとらえることに重きを置き「文化」の2字を入れています。AIDS文化フォーラムの活動は、2011年に京都開催へつながったことを皮切りに全国へ(陸前高田/横浜/名古屋/京都/佐賀)と広がりました。それぞれが地域特性に沿った独自のフォーラムを創っています。



来年は「リアル」でもつながろう!

お問い合わせ AIDS文化フォーラム in 横浜 事務局 (横浜YMCA 担当: 高村/白井) ※開催期間中(8/7~8/9)はE-mailへお問合せください。

TEL: 045-662-3721 (代) FAX: 045-651-0169 E-mail: abf@yokohamaymca.org

231-8458 横浜市中区常盤町1-7 横浜YMCA内

